

かけがえのない社会資本

今、既設の産業・社会・自然環境などのさまざまな社会資本の寿命を延ばし、安全性・生産性を高めるため、非破壊検査技術が生かされています。



本社、安全工学研究所、大阪事業本部
神戸事業本部



人と技術のあいだに 非破壊検査株式会社

本社/〒550-0014 大阪市西区北堀江1-18-14 Tel.06(6539)5821(代)
東京営業本部/〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-4-9 日本ビル Tel.03(5651)0311(代)
<http://www.hihakaikensa.co.jp>



喝采の時間。

人々はその舞台に惜しめない拍手を送る。
限りない創造性に彩られた至福の時間に心をふるわせ、
感謝の意味をこめて。

人・街・暮らしの価値共創グループの一員として。
私たちは、人々が心豊かに暮らす社会を舞台に、
喝采の時間を刻もうと思います。

大和ハウス工業株式会社は、
「読売日本交響楽団 大阪定期演奏会」に協賛しています。

大和ハウス工業株式会社 www.daiwahouse.co.jp

読響

55th Anniversary
Orchestra



ベルリン・フィルやロンドン響などを指揮し、
古典派の解釈でも評価の高いフランスの名匠
指揮
エマニュエル・クリヴィヌ
Conductor=Emmanuel Krivine

年末に響く、
心震わす壮大なクライマックス
歡喜の歌



ソプラノ
インガー・
ダム=イェンセン
Soprano=Inger Dam-Jensen
©Isak Hoffmeyer



メゾ・ソプラノ
清水華澄
Mezzo-Soprano=
Kasumi Shimizu
©Takehiko Matsumoto



テノール
ドミニク・
ヴォルティヒ
Tenor=
Dominik Wortig
©Sebastian Elsaesser



バス
妻屋 秀和
Bass=Hidekazu Tsumaya

ベートーヴェン：
交響曲 第9番 二短調 作品125
「合唱付き」
Beethoven: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

読売日本交響楽団 第18回大阪定期演奏会

2017年 12月21日(木) 19時開演

フェスティバルホール(大阪)

BOX席 ~~sold out~~ S席 ¥7,200 A席 ¥6,100 B席 ~~sold out~~

お申し込み・お問い合わせ
フェスティバルホール チケットセンター: 06-6231-2221
<http://www.festivalhall.jp> (10:00~18:00・休館日を除く)

読響チケットセンター: 0570-00-4390
<http://yomikyo.or.jp/> (10:00~18:00・年中無休)



合唱=新国立劇場合唱団(合唱指揮=三澤 洋史)
Chorus=New National Theatre Chorus (Chorusmaster=Hirofumi Misawa)
©読響

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
協賛: 非破壊検査株式会社、大和ハウス工業株式会社、新菱冷熱工業株式会社 協力: コジマ・コンサートマネジメント マネジメント: キョードー

クラシック音楽の最高傑作 時代を超え、心に響きわたる《歓喜の歌》

指揮
エマニュエル・クリヴィヌ

Emmanuel Krivine
今年9月、名門フランス国立管の音楽監督に就任したフランスを代表する名匠。フランス放送フィルの首席客演指揮者、リヨン国立管の音楽監督、バルセロナ響の首席客演指揮者、ルクセンブルク・フィルの音楽監督などを歴任。現在は、2004年に創設したオリジナル楽器の楽団ラ・シャンブル・フィルの首席指揮者やスコットランド室内管の首席客演指揮者を兼任している。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、シカゴ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ボストン響など世界の名だたる楽団を指揮し続けている。録音も数多く、近年ではナイーブ・レーベルに録音したラ・シャンブル・フィルとのベートーヴェンの交響曲全集は、英グラモフォン誌で絶賛されるなど高い評価を得た。読響には03年以来、14年ぶりに登場する。



ソプラノ
インガー・ダム=イェンセン

Inger Dam-Jensen
世界各地で聴衆を魅了するデンマークの歌姫。カーディフ国際声楽コンクール優勝。ドホナーニ、C.デイヴィス、ハイティンク、アシュケナーズの指揮で、ニューヨーク・フィル、ベルリン・ドイツ響、デンマーク国立放送響、バーミンガム市響など世界の一流楽団と共演している。パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラなどでも活躍している。



メゾ・ソプラノ
清水 華澄

Kasumi Shimizu
目覚ましい躍進をみせるメゾの大家。バーデン市立劇場「こうもり」オルロフスキー、二期会「ドン・カルロ」エボリ公女、新国立劇場及び中国国家大劇院「アイーダ」アムネリスなどで絶賛を博した。マーラーの交響曲(2番、8番)の独唱を得意とし、主要楽団と多数共演。来年2月、二期会「ローエングリン」でオルトルート役を歌う。二期会会員。

テノール
ドミニク・ヴォルティヒ

Dominik Wortig
宗教曲やリートで国際的に活躍するドイツ人テノール。ハーゲン歌劇場やヴァッパタル歌劇場で数多く歌い、ミラノ・スカラ座、ドレスデン国立歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場などに客演している。ギーレン、プロムシュテット、ヘンゲルブロック、リリンクラ巨匠と共演している。現在はアウグルブルク大学レオポルト・モーツァルト・センター教授。



バス
妻屋 秀和

Hidekazu Tsumaya
温かみのある深い声を持つ、日本を代表するバス歌手。1994年から2001年までライプツィヒ歌劇場、02年から11年までワイマール国民劇場の専属歌手を務めた。ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、新国立劇場などに客演し、幅広いレパートリーで国際的に活躍している。今年7月の二期会「ばらの騎士」のオックス役で絶賛された。二期会会員。

新国立劇場合唱団 (合唱指揮=三澤 洋史)
New National Theatre Chorus (Chorusmaster=Hirofumi Misawa)

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響(第九)のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以来、読響(第九)公演に出演を続けている。

読売日本交響楽団
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、常任指揮者はシルヴァン・カンブルランが務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

クラシック音楽の歴史に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く“歓喜の歌”は、年の瀬の日本を彩る風物詩として親しまれています。〈第九〉には、国境を越え、世代を超えて、多くの人に感動をもたらす特別な魅力があるのです。

今年読響〈第九〉公演、指揮には世界的名匠エマニュエル・クリヴィヌが登場します。フランス国立管の音楽監督を務め、ベルリン・フィルやロイヤル・コンセルトヘボウ管など世界の一流楽団と共演しているマエストロです。

パリ・オペラ座など世界各地で歌うソプラノのダム=イェンセンをはじめ国際的に活躍する独唱陣、日本が誇るプロ合唱団の新国立劇場合唱団とともに、読響がお届けする至福のひとつときをご堪能ください。

読売日本交響楽団 第18回大阪定期演奏会

2017年 **12月21日** (木) 19時開演

ベートーヴェン:
交響曲 第9番 ニ短調 作品125 「合唱付き」

フェスティバルホール (大阪)

〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18 TEL:06-6231-2221
京阪中之島線「渡辺橋」駅12番出口直結
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅2番出口または1-A出口より徒歩2分
JR「大阪」駅桜橋口より徒歩11分

BOX席 ~~SOLD OUT~~ S席 ¥7,200 A席 ¥6,100 B席 ~~SOLD OUT~~

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します(学生券に関するお問い合わせは読響チケットセンターまで)。
■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

お申し込み・お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター
06-6231-2221 (10:00~18:00・休館日を除く)
<http://www.festivalhall.jp>

読響チケットセンター


0570-00-4390 (10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

Living Together

共生をテーマに、人と環境の理想的な未来を



 **SHINRYO** 新菱冷熱工業株式会社 www.shinryo.com